鹿屋市国民健康保険税条例施行規則の一部を改正する規則

鹿屋市国民健康保険税条例施行規則(平成18年鹿屋市規則第124号)の一部を次のように改正する。

別記第1号様式を次のように改める。

第1号様式(第2条関係)

表

鹿屋市 国民健康保険税 納税通知書 兼納付書

●問合せ先 〒893-8501 鹿児島県鹿屋市共栄町20番1号 鹿屋市役所 課 係 電話 0994-43-2111(内線 ・)

裏

〈鹿屋市の国民健康保険税について〉

鹿屋市 課 係 電話 0994-43-2111 (内線・

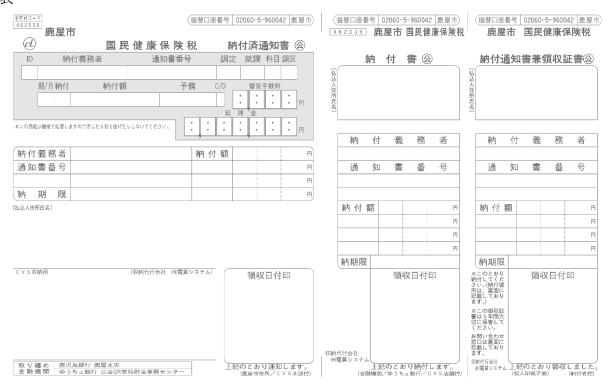
- 1 課税の根拠 この税金は、地方税法及び鹿屋市国民健康保険税条例の規定によって賦課期日(4月1日)現在、鹿屋市内に住所を有する国民健康保険の被保険者である世帯主(被保険者の資格がない世帯主であって、その世帯内に被保険者のある当該世帯主を含む)に課せられます。
- 2 月割課税 賦課期日後に新たに納税義務が発生した世帯主に対しては、その発生した月から月割で算定した額を課し、納税義務が消滅した世帯主に対しては、その消滅した日の前月まで月割した額が課税されます。なお、賦課期日後に世帯内の被保険者に異動があった場合は、月割をもって税額が増減されます。
- 3 課税額 被保険者につき算定した所得割額、資産割額、被保険者均等割額、世帯別平等割額の合計額(限度額 医療分 円、支援金分 円)と、介護保険の第2号被保険者につき算定した所得割額、資産割額、被保険者均等割額、世帯別平等割額の合計額(限度額 円)の合算額となります。
- 4 不服の申立て この税金の賦課について不服があるときには、この納税通知書を受け取った日の翌日から起算して3か月以内に市長に対して審査請求をすることができます。この決定の取消しを求める訴えは、前記の審査請求に係る裁決の送達を受けた日の翌日から起算して6か月以内に市を被告として(市長が被告の代表者となります。)提起することができることとされています。なお処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決を経た後でなければ、提起することができないこととされていますが、①審査請求があった日から3か月を経過しても裁決がないとき、②処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき、③その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるときには、裁決を経ないでも処分の取消しの訴えを提起することができます。
- 5 納付について 納付金は納期限までに納付してください。(特別な理由により納期限までに納められない場合は、市役所 課までご相 載ください。)

また、納期限までにこの税金を納付されなかったときは、下記の手続がとられます。

- (1) 延滞金の加算 納期限の翌日から納付の日までの期間に応じ、税額又は納入金額(1,000円未満の端数があるとき、又はその金額が 2,000円未満であるときは、その端数金額又は全額を切捨てます。)につき、年 %(当分の間特例として、延滞金特例基準割合+7.3%(上限 %)。ただし、納期限の翌日から1か月を経過する日までの期間については、年 %(延滞金特例基準割合+1%(上限 %)))の割合で計算した金額を徹収します。
- (2) 督促手数料の加算 納期限後20日以内に督促状が発送され、督促手数料が100円加算されます。
- (3) 滞納処分 督促状を発送した日から起算して10日を経過した日までに完納されないときは、財産などの差押えを受けることがありませ
- 6 この通知書は、鹿屋市国民健康保険税条例第32条第2項の規定による減免(減額)申請に係る承認決定の通知を兼ねています。

	鹿屋	市			国民	健康	保険	脱紗	税i	通知	Ė											T	記	の各	納期	毎の	税客	頂を	納付	して	くだ	さい	١,		
			斜	,税 義	務者	氏	名							通	知:	書 番	号																		
																							上	段:0	≦療2	分中	'段:	支援	€金	分 -	下段	:介	護分		
課	税	標準	所得	額円	税型	<u>«</u> %	所	得	割客	頁円	Ē	果稅	標	準	資 i	産 額	[円	税	率	円	資	産	割	額円		人数				額P			等害		F
														-																					
														3								1													
														- 8																					
		世帯			減 額			限	中 :	迢過	妬	ш			増源		L	宇田	当演	額円		減	缶	額円	, L					税额	頂円	3			
平等	等割	額 円	均等	割額円	平等	割額	円	PLX	1 X 1	H 100	时		左	F₹	党 額	円	,	ינים נ	日/火	10只 厂		1195	96		,				訳				合	計	
											\perp											<u>!</u>				医									
						1_					_											<u>!</u>				支援									
	- }		<u> </u>								}						1	}	- }			1				介	隻う	分	<u> </u>						
		期		<u> </u>				,				_					1		,			_	,				特		月			Ŧ.	党 額		
普		税					円		_		Р	}		- }		P	9	1	- 1		F	1	┸			F	Bil						_		F
通			斉 額	$\perp \perp$			円		_		Р	}		- }		P	9		- }		F	1	_			F	微						1		F
敳			<u>べき額</u>		- }		円				F	1				P	9	}	_{		F.	1				円	収						┺		P
区		納期					_					1					4					L					保			_			1		P
保		期		<u> </u>				,	-			1	,	_,			1	,	,			1	,				除						_		P
険		税		$\perp \downarrow$			円	1_	_		F		<u> </u>	- }		P		1			F.	_	_			円	税						<u>.] </u>		P
锐	斜		斉 額	$\perp \downarrow$	}		円	_	_		F			- }		P	_	}	-{		F.	_	\perp	_		円	額		뀦	年月	度 优	又了	定	額	_
額			<u>べき額</u>	$\perp \perp$	{		円				F	3		į		P	9	{	}		F.	4	_			円							}		P
		納期	限														1										1								

表



別記第2号様式を次のように改める。

第2	号様式	(第2	条関係)

I		

通知書番号	
保険証番号	

年度国民健康保険税を下記のとおり 決定 (更正) いたしましたので通知します。

年 月 日

鹿屋市長 印

金融機関名

口座種別 振替区分 口座番号 口座名義人

納組コード 納組名称

年度 国民健康保険税 決定(更正)通知書

	更正前	更正後	増減
決定 保険税	Д	Щ	П

※ 賦課明細は次頁のとおり。

(単位

立:円)		
内付額		
	١.	
		1

	普	通微収	期別納付	額	
期別	納期限	更正前	更正後	納付済額	今回納付額
第1期	年 月 日				
第2期	年 月 日				
第3期	年 月 日				
第4期	年 月 目				
第5期	年 月 日				
第6期	年月日				
第7期	年 月 日				
第8期	年 月 日				
随1期	年 月 日				
					()¥(±, m)

(単位:円)

	保険税約	村方法等
付額	徴収方法	
	特別徴収 義務者	
	特別徴収 対象年金	
	特別徴収 対象年金額	

	特	別徴収	月別納付	ナ 額	
月別	引落日	更正前	更正後	納付済額	今回納付額
4月	年 月 日				
6月	年 月 日				
8月	年 月 日				
10月	年 月 日				
12月	年 月 日				
2月	年 月 日				·

		更正事由	
異動年月日	届出年月日	理由	氏:名

この通知書に記載された事項について不服のある場合は、この通知書を受け取った日の翌日から起算して3か月以内に 市長に対して審査請求をすることができます。この国民健康保税の決定の取消しを求める訴えは、前記の審査請求に係る裁決の送達を受けた日の翌日から起算して6か月以内に市を被告として(市長が被告の代表者となります。)提起することができます。なお、処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決を経た後でなければ提起することができな いこととされていますが、

- ①審査請求があった日から3か月を経過しても裁決がないとき
- ②処分、処分の執行又は手続きの続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき
- ③その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき

は裁決を経ないでも処分の取消しの訴えを提起することができます。

1/2

通知書番号	
保険証番号	

国民健康保険税決定の明細

(単位:円)

	賦	課明細	更正前	更正後	増減
	所得割額	基礎額	2 - 7.	2 5 - 12 5	,
	別特制領	×			
	資産割額	基礎額			
	貝圧的報	X			
	均等割額	被保数	人	人	人
		× 円			
	1/2	等割額 出額			
医療保険分	异	·山領 判定			
原保	政令軽減額	判定 均等割額			
険	以 口 十工/火山只	平等割額			
分	限度	招過額			
	年間	保険税			
	増減	調整額			
	条例	減免額 免額			
	洞	免額			
	(A) 医療分	保険税額			
		基礎額			
	所得割額	X			
	資産割額	基礎額			
	貨座刮領	X			
	均等割額	被保数	人	人	人
		× 円			
	平等等	刊額			
+	算出	判定			
支援金分	政令軽減額	り等割額 均等割額			
金	以口生的人物	平等割額			
分	限度	超過額			
	年間	保険税 調整額			
	増減	調整額			
	条例	減免額 免額			
	(B) 支援金:	分保険税額			
	TE ZE dauder	基礎額			
	所得割額	X			
	資産割額	基礎額			
	頁座刮領	X			
	均等割額	被保数	人	人	人
_		× E			
介羅	平等	割額出額			
介護保険分	异[山 <u>御</u> 判定			
険	政令軽減額	均等割額			
分	DA D TENNAN	平等割額			
	限度起	召過額			
	年間(超過額 保険税			
	増減調	周整額 ニューニュー			
	減分	· 額			
	(C) 介護分	保険税額			
					(単位・田)

			更正前	更正後	増減
決定額	決定保険税額(A)	+(B)+(C)			
		医療保険分			
	内訳	支援金分			
	(再掲)	介護保険分			

別記第3号様式を次のように改める。

第3号様式(条例第2条関係)

市町村3-F 462039		ħ	22	(振替口)							表替口座和 5 2 0 3 9		2060-5 屋市	-960042	2 鹿屋市	振	替口座 鹿居		2060-5	96004	鹿屋市
ID	#/	付義務者	通知書	新号	湖定	付済	通为 科E		100000000000000000000000000000000000000			納	付	書②			納付	通知	書兼領	即位記	書公
	#0 / E2 9/6/4/	納付額		予備	C/D	48.70	2手数4	iot .		茲						(払込人住所氏名)					
	期/月納付	現得 じげき		3,24	C/D			1.		払込人住所氏名						住所					
					麺	滞金			P	氏名						5					
※この用紙!	は機械で処理し	ますので汚したり折り曲げた	りしないでください。	: :		: :	1:	1:	円	1						. L					
			E								納	付	義	務	者		納	付	義	務	者
	義務者			納作	額				P						1		1222				
通知	書番号								PI		通	知	書	番	号		通	知	書	番	号
64 4	HO 1753					-		1	H			-				-					
	期限					- 4			. M		納付	77	- 1				納付	88			-
払込人住所	1代表)									-	389 T.1	BH.	- 1	-	B	1	143 L.1 L	BR	- 1	- 1	
										-		-	- 1	-	В	1			-	-	
										-		-	- 1		B	-				-8	
											納期阻	1	.00	- 53			納期阻	2			
CVSQM	U収納代行会社 販電算シフ			電算システム		領収日付印					44.3343.67	領収日付印				(前が利力が 来このとおり 納付してくた さい。(納付場 原は、裏面に 記載しており ます。)					
節に生い	よ順児島登	現行 鹿屋支店								収納代除罪	行会社	6.				※曹切く お窓記虫	の領域関大で の毎年度し、 の毎年度し、 のの表現である。 のの表現である。 では、 のの表現である。 では、 のの表現である。 では、 では、 のの表現である。 では、 のの表現である。 では、 のの表現である。 のの表現である。 のの表現である。 のの表現である。 のの表現である。 のの表現である。 のの表現である。 のの表現である。 のの表現である。 のの表現である。 のの表現である。 のの表現である。 のの表現である。 のの表現である。 のの表現である。 のの表現である。 のの表現である。 ののでものでも。 ののでものでものでもの。 ののでもの。 ののでもの。 ののでもの。 ののでもの。 ののでもの。 ののでもの。 ののでもの。 ののでもの。 ののでもの。 ののでもの。 ののでもの。 ののでもの。 ののでもの。 ののでもの。 のので。 ののでもの。 ののでもの。 ののでもの。 ののでもの。 ののでもの。 ののでもの。 ののでもの。 のので。 のので。 ののでもの。 ののでもの。 ののでもの。 ののでもので。 ののでもの。 ののでもの。 ののでも。 ののでも。 ののでも。 ののでも。 ののでも。 ののでも。 ののでも。 ののでも。 ののでも。 ののでも。 。 ののでも。 のので。 のので。 のので。 のので。 のので。 。 のので。 のので。 。 のので。				
金融機関	QR無 QR有	現行 廃屋支店 ゆうちょ銀行 福岡貯金 ゆうちょ銀行 公金QR	主事務センター 受持貯金事務センタ		上版	のとお			まず。 本部性)	199746		上記の		納付し 銀行/C	ます。 / S店舗控)		電算システ	(収入印	のとおり 紙不要)	領収し	ました。 (納付者符

附則

この規則は、令和6年7月1日から施行する。